



発行 長野県新聞活用教育(NIE)推進協議会 【事務局】〒380-8546 長野市南県町657 信濃毎日新聞読者センター内
電話 (026) 236-3480 ファクス (026) 236-3096 Eメール nie@shinanoji.net

長野市で第9回長野県NIEセミナー

「なぜ新聞か」分からせて

国立教育政策研・杉本直美さん講演

長野県新聞活用教育(NIE)推進協議会は11月9日、長野市の信濃毎日新聞本社で「第9回県NIEセミナー」を開いた。講師に国立教育政策研究所の学力調査官、杉本直美さんを招き、「情報の受信・発信と新聞の活用」について話を聞いた。

杉本さんは、文部科学省の全国学力・学習状況調査(学力テスト)の中学国語の問題を担当。約40人の教員らの前に、学力テストに新聞を使った問題を出していることについて、自分で課題を見つけて情報を集め、整理

して調べるという「課題解決型の授業」が求められる中、児童生徒の新聞に関わっての学力が、どの程度あるのか把握するためと説明した。学力テストにはA問題とB問題がある。杉本さんはAもBも、基本的に「授業アイディア」を紹介。10年度の「部活動新聞」で一般記事

とコラム記事の書き方の違いを踏まえた上で、トップ記事とコラム記事を書いてみる授業を示した。「情報の受信」という観点で、本年度の学力テスト中学校国語B1「いろいろはかるた」の問題では、かるたについて分かったことを生徒に書かせた上で、さらに知りたいことをどのような手段で調べるか答えさせる問いを出題。杉本さんは「インターネットで調べると書いた生徒の約2割が、具体的な調べ方(キーワードを入力して調べるなど)の見出しが立っていない点を指摘。「インターネットや学校図書館でどのように調べたらいいか分からない生徒に、もう少し丁寧に授業をする必要がある」と訴えた。そして、なぜ授業で新聞を使うのか、という問いを児童生徒に理解させることの大切さ、NIEを通じて児童生徒にどのような力を付けさせたいのか、教師がイメージして授業をしていくことの大切さを強調した。

また、この日は産経新聞社長長野支局長の高橋昌之さんが「政治記者の仕事と政治記事ができるまで」と題し、入社後の動機や政治記者に求められる力などについて話した。

学力テスト問題 長野県の正答率

セミナーでは、杉本さんが用意した全国学力・学習状況調査(学力テスト)の問題3問を、参加者が実際に解いた。また、3問を含むいくつかの問いについて、全国と長野県の正答率を杉本さんが紹介した。

最初の問題は、2010年度中学校国語B1。トップ記事で太宰治生誕100年を伝える「全国新聞」の1面から出題。設問一。太宰治文学サロンが開設された年月の正答率は全国75.8%、長野県75.4%。同二。トップ記事とコラムの書き方の違いは全国50.2%、長野県46.8%。同三。どの記事のどの部分に興味を持ったかは全国52.6%、長野県43.6%だった。

次に本年度中学校国語B1。設問三。「いろはかるた」についての説明を読み、さらに調べたいことをどの手段でどう調べるか。正答率全国58.5%、長野県55.4%。

最後に同B3「漢字を正確に書きますか?」。設問一。新聞記事の書き方の特徴を選ぶ問題。正答率は全国61.6%、長野県58.8%だった。

杉本さんの講演内容や学力テスト問題などについての問い合わせは長野県NIE推進協議会(電話026・236・3480)へ。

県内の教員が中心メンバーの「長野県NIE研究会」 各地区研究会の参加者を募集

- 【北信地区NIE研究会】会長：宮下 宏・中野市立長丘小学校教頭
期日：2013年12月7日(土)午後1時30分～4時
場所：信濃毎日新聞社長長野本社2階講堂(県庁近く※駐車場なし)
- 【中信地区〃】会長：有賀 久雄・長野県田川高校教諭
期日：2013年12月7日(土)午後1時30分～4時
場所：池上百竹亭(松本城北 裁判所となり)
- 【東信地区〃】会長：木内 清・長野県小諸高校校長
期日：2013年12月14日(土)午後1時30分～4時
場所：佐久勤労者福祉センター(佐久平駅南)
- 【南信地区〃(予定)】会長：木下 正彦・駒ヶ根市立東中学校教諭
期日：2014年1月11日(土)午後1時30分～4時
場所：伊那北地域活性化センター「きたっせ」(伊那北駅徒歩3分)

◎いずれも参加無料です。お気軽にご参加ください。
◎申し込みは同会事務局(県NIE推進協内)へ。学校名、お名前をお知らせください。電話 (026) 236-3480 ファクス (026) 236-3096